

滝河新聞

たきかわしんぶん

第8号

平成26年8月28日

札幌開発建設部滝川河川事務所

「滝河新聞」は滝川河川事務所が行っている取り組みや工事、イベント、地域の情報など様々な話題を取り上げていきます。

今回は、「8月5日出水対応」です。

平成26年8月4日(月)から5日(火)にかけて、台風12号から変わった低気圧が前線を伴って北海道付近を通過し、日本海側北部を中心に非常に激しい雨が降りました。この雨で朱鞠内では累計197.5mmの降水量を記録しました(気象庁HPより引用)。

そのため、雨竜川では「はん濫危険水位」を超えるなど3の水位観測地点において基準水位を超過し、幌加内町・深川市・沼田町では河川のはん濫の危険性が高まり、避難勧告が発令され住民が避難する事態となりました。

今回の出水では、河川水位の上昇や内水の排除不良により、管内で浸水被害が発生しました。各市町では浸水被害の軽減を図るため、排水ポンプ車や排水機場のポンプにより内水排除活動を行い、被害の拡大を防止しました。

出水：河川の流量が多い状態。

はん濫危険水位：洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じるはん濫の起こる恐れのある水位。

内水：堤防の堤内地側にたまった雨水等。



KP52.2 雨竜川ヌップ上流樋門(深川市)における内水排除状況



KP52.2 雨竜川ヌップ上流樋門(深川市)における内水排除状況(夜間)

堤内地：堤防によって河川のはん濫から守られている土地。堤防からみて住宅や農地がある側。

排水ポンプ車(開発局所有)

【情報収集・自治体支援等】

札幌開発建設部では、24時間体制で気象及び河川情報の収集・監視等を行いました。

現地では、地上からの河川巡視に加え、災害対策用ヘリコプター「ほっかい」を派遣し、上空から浸水状況等の調査を実施しました。

また、深川市からの要請により排水ポンプ車を派遣したほか、被災した自治体への支援や情報収集を目的として、深川市・幌加内町・沼田町・秩父別町・北竜町・雨竜町に対し、職員を現地情報連絡員（リエゾン）として派遣しました。



職員による河川巡視 雨竜川 幌加内水位観測所



職員による堤防点検
雨竜川 長留内築堤



職員による堤防点検(夜間)
雨竜川 ペンケ築堤

ご不明な点やご意見がありましたら、滝川河川事務所までご連絡ください。

札幌開発建設部滝川河川事務所 計画課 TEL0125-76-2211